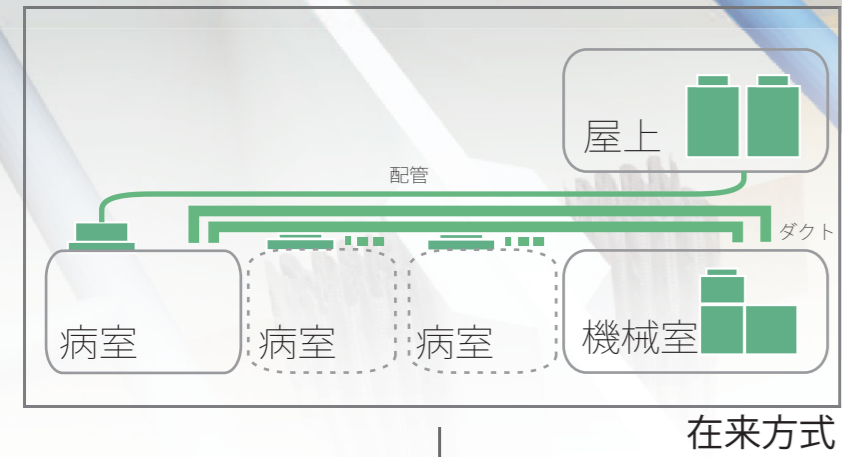


概要

従来の病院病室の空調方式は、空調用の室内機、屋外機、換気加湿用の外気処理機をそれぞれ設置するため、各室間をダクト・配管が錯綜している。本空調機は、空調・換気・加湿機能を一体化してバルコニー設置とすることにより、病室空調を限りなくシンプルにすることを旨とした。



在来方式



ALL IN ONE

在来方式より省エネ化



環境・設備デザイン

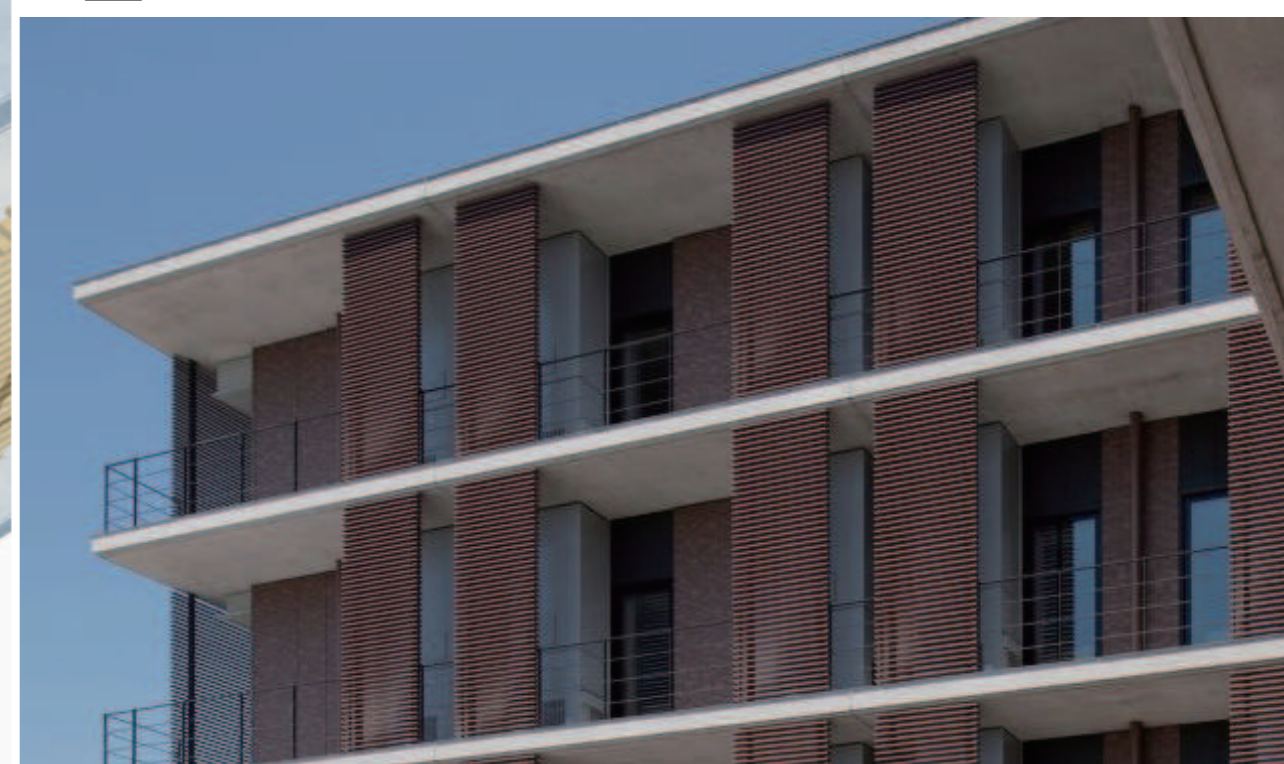
デザインメリット

1. スッキリとした天井



天井面に空調機、点検口等が発生せず天井面のデザインの自由度が増す。

2. 機械室・屋上スペースレス

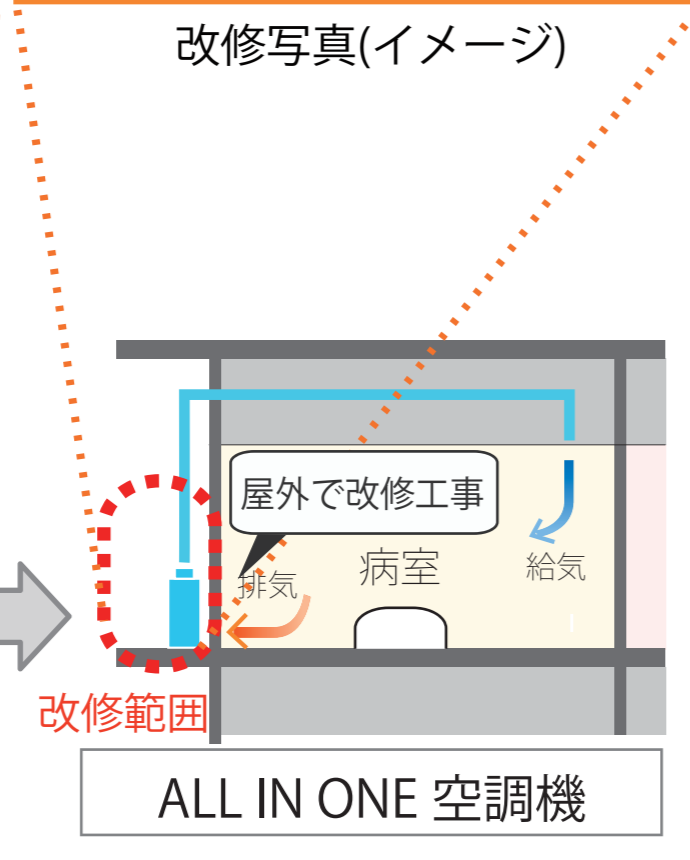
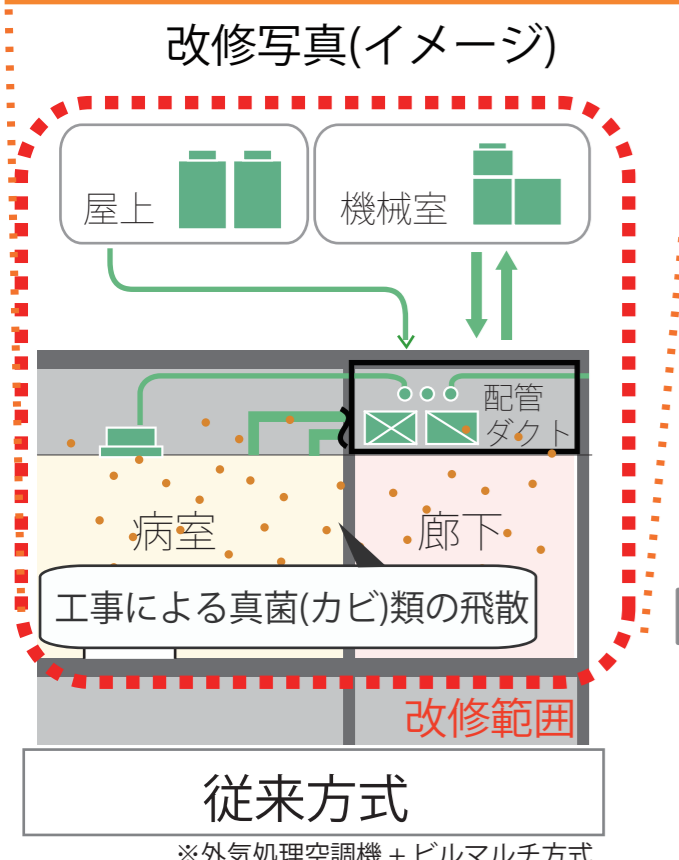


空調・換気・加湿機能を一体化してバルコニー設置。

機能性・社会性・経済性

病室空調を限りなくシンプルに

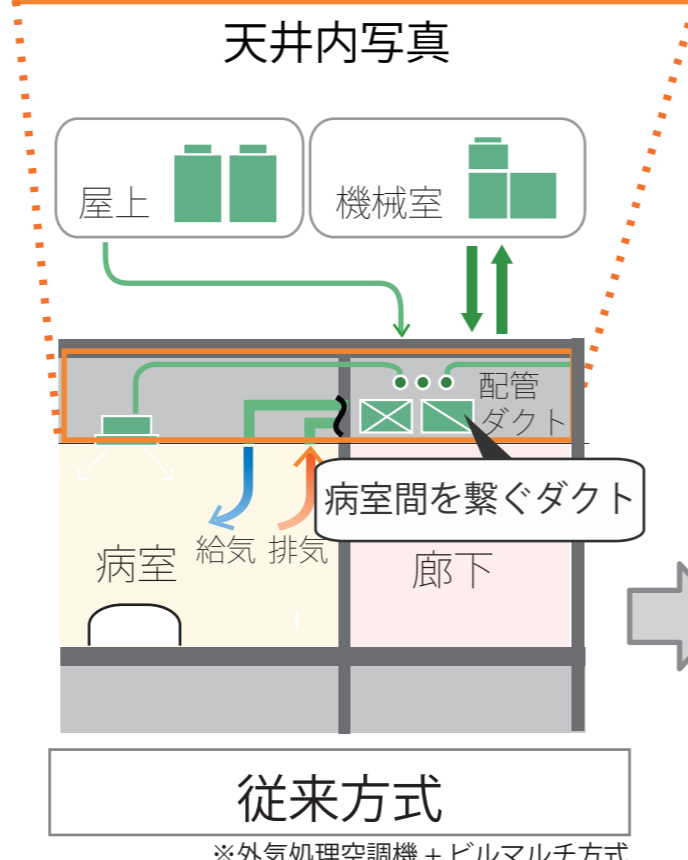
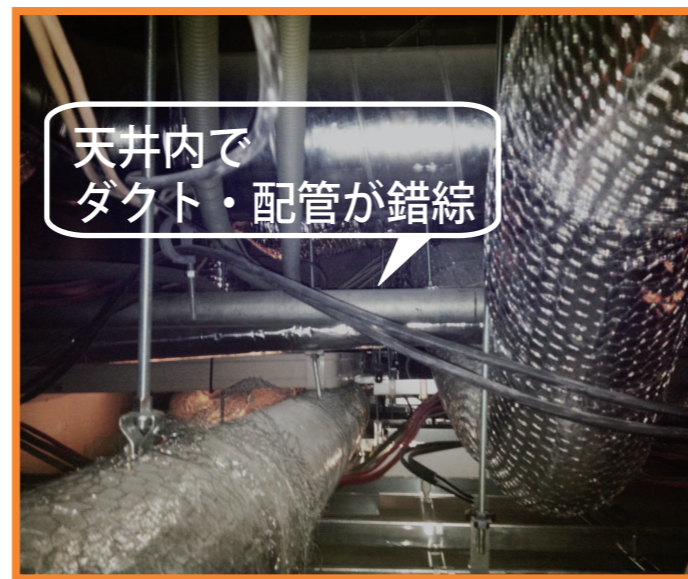
1. 病室内改修レス



メリット

- 病室を運用しながらの改修が可能。
- 改修時に天井撤去が不要のため、入院患者にとって感染の危険因子となる真菌(カビ)類の飛散がない。
- 病室毎で空調が完結しているため、病室毎の改修が容易。

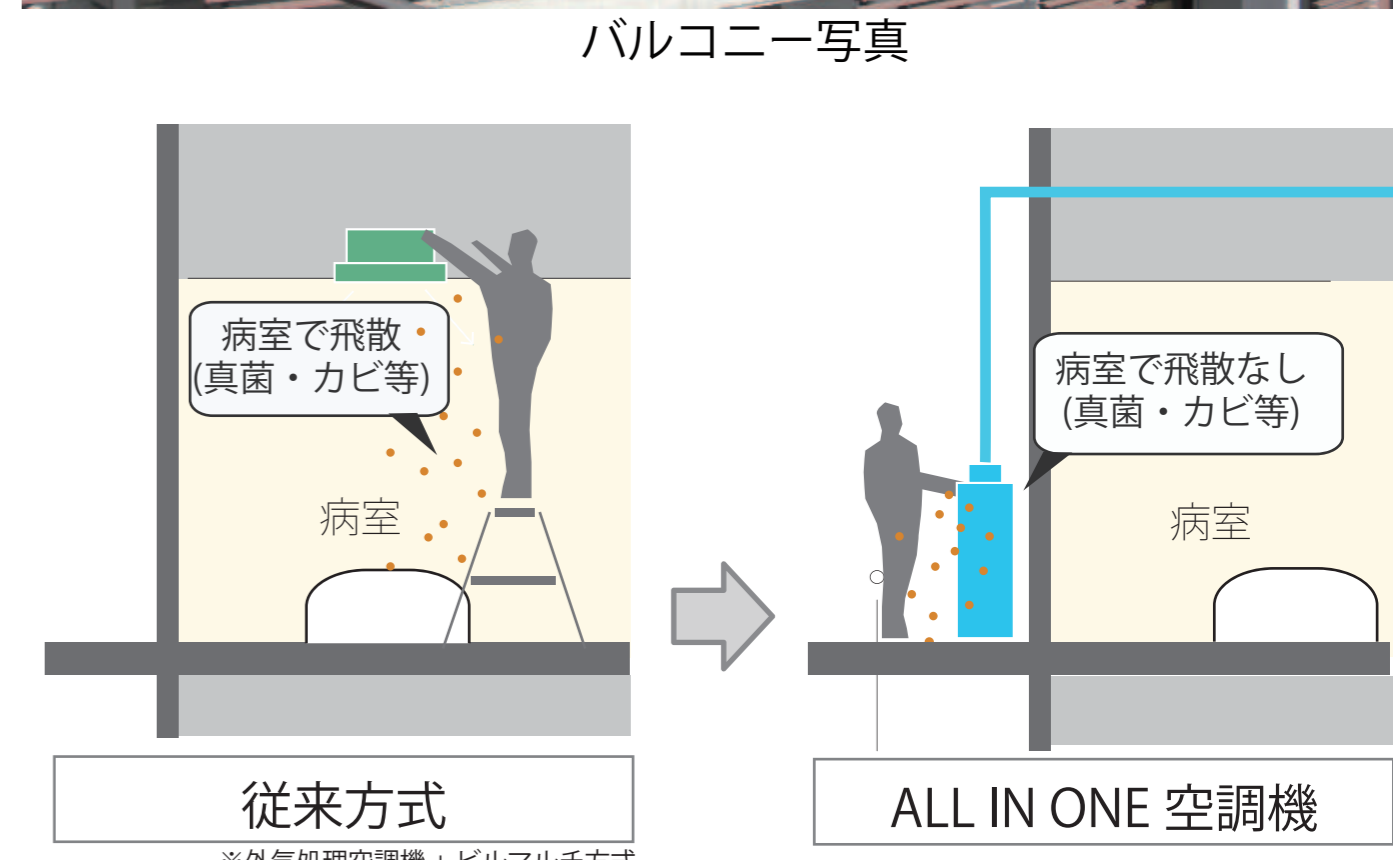
2. 配管・セントラルダクト・機械室レス



メリット

- 空調に係る配管・ダクトは共用部天井内には出てこない。
- 病室間を繋ぐダクトがないため、感染リスクが低減。
- 機械室、屋上屋外機スペースが不要で省スペース化。
- 階高の縮小、天井高さの確保が可能

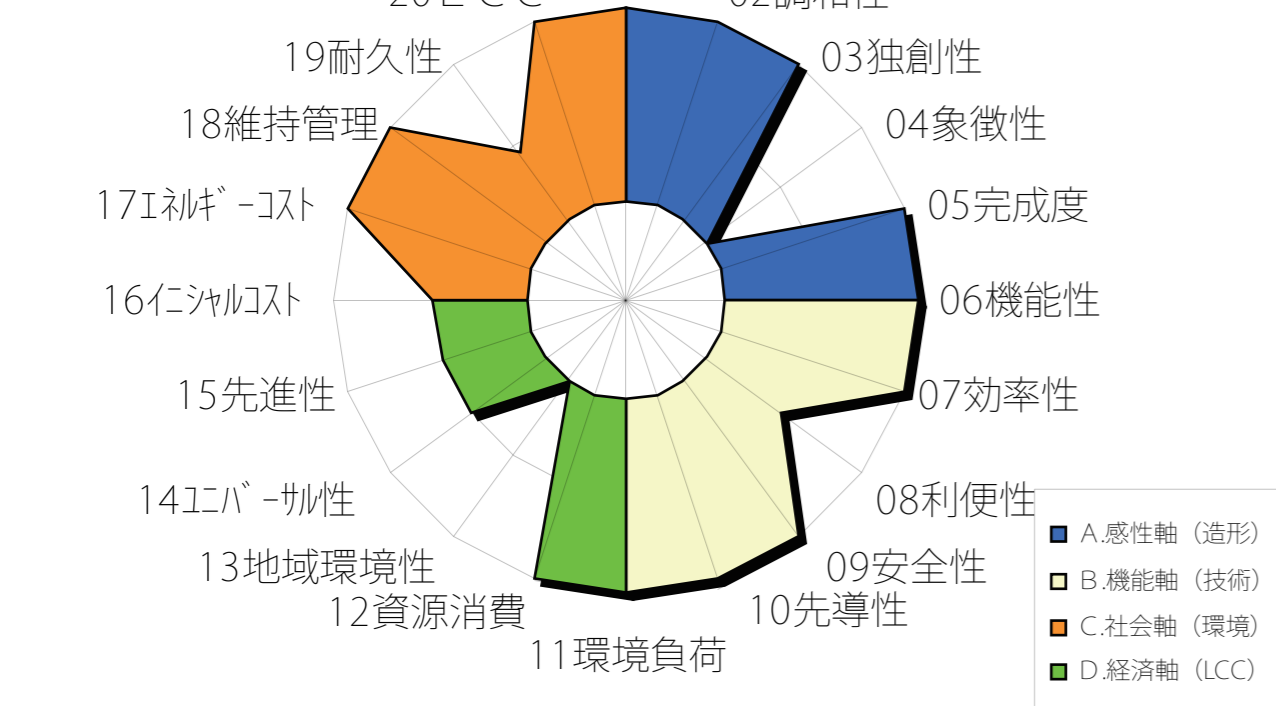
3. 病室内メンテナンスレス



メリット

- 完全屋外メンテナンスによるメンテナンス性の向上。
- フィルター交換時の、真菌・カビ・ホコリ等の室内への飛散なし。
- 入院患者のプライバシー確保が可能。

評価



□評価項目	□特に重視したデザイン視点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図 (従前のデザインと比較し、優れている部分、卓越している部分に関して具体的に記述してください。)	□自己評価欄		
			普通	優れている	卓越している
A.感性軸(造形) Form	01審美感	★空調、加湿、換気機能を一つに集約して、シンプルな形状とした。	0	+1	+2
	02調和性	★バルコニー設置としているが、外観からは空調機には見えないデザインとなり、外装との調和も取れている。	0	0	2
	03独創性	★空調、加湿、換気機能を一つに集約し、屋外設置とすることで、病室内でのメンテナンスレス・改修レス化を実現している。	0	0	2
	04象徴性	除外	0	0	0
	05完成度	★空調、加湿、換気機能を一つに集約しつつ、高い省エネ性能を実現している。	0	0	2
B.機能軸(技術) Technology	06機能性	★空調、加湿、換気機能を一つに集約して、省スペース・省エネ化を実現している。	0	0	2
	07効率性	★全熱交換機による熱交換と熱交換後の排気を室外機で2重の熱回収を行うことで、熱ロスを最低限に抑えている。	0	0	2
	08利便性	★一つのリモコンで、空調・換気双方の操作可能。	0	0	1
	09安全性	★室間でダクトが繋がらないため、空気感染リスクの低減に繋がる天井に設備機器を吊ることで、地震時の落下の心配なし。高効率化、省スペース化、メンテナンス性、更新性の向上を可能とする新しい空調システム。	0	0	2
	10先導性		0	0	2

□評価項目	□特に重視したデザイン視点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図 (従前のデザインと比較し、優れている部分、卓越している部分に関して具体的に記述してください。)	□自己評価欄		
			普通	優れている	卓越している
C.社会軸(環境) Environment	11環境負荷	★ヒートポンプ技術、全熱交換機の使用により省エネ化を図り、CO2排出量も抑えた環境にやさしい製品である。	0	0	2
	12資源消費	★更新・改修時に建築的な導線工事が発生しない。	0	0	2
	13地域環境性	除外	0	0	0
	14ユニバーサル性	★入院している健康的弱者への感染リスクの低減、プライバシーの確保を実現できる。	0	0	1
D.経済軸(LCC) Life Cycle Cost	15先進性	★病室に求められる空調機能を全て一つに集約化。	0	0	1
	16ニボルコスト	★セントラルダクト・配管レスにより、階高を抑えることが可能。	0	0	1
	17ランニングコスト	★省エネ、更新・改修の容易化によりランニングコスト低減が可能。	0	0	2
	18維持管理	★屋外バルコニーで全てのメンテナンス可能。改修時に病室内での設備改修が発生しない。	0	0	2
	19耐久性	★鋼板製(フレン酸塗装)の外装材により高い耐久性を確保。	0	0	1
	20LCC	★病室を閉鎖することなく、運用しながらの更新・改修が可能。改修・更新時の建築関連の工事が最小化。	0	0	2